ひまわりだより

NO.237

2018年　2月

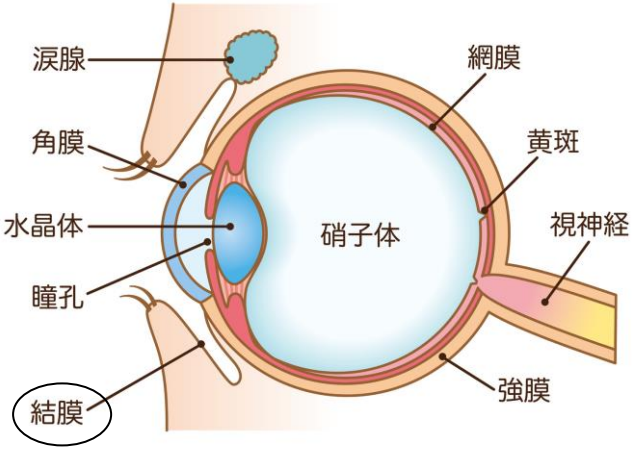
巾上ひまわり薬局　松本市巾上10－5　TEL 0263-35-4441
FAX 0263-37-5561
塩尻ひまわり薬局　塩尻市長畝230－3　TEL 0263-51-5311
FAX 0263-51-5322

定 休 日　日曜・祝日

2018 年になってもう１ヶ月が過ぎてしまいました。早いですね。インフルエンザが流行し、今年は雪が降らないと思っていたら全国的な大雪、過去最大級の寒波到来などで寒い日がつづいていますね。体調管理はきちんとしましょう。

今回のテーマは結膜炎です。

結膜炎とは、白目と瞼の裏側を覆っている半透明な結膜が赤く充血して炎症を起こす病気のことです。

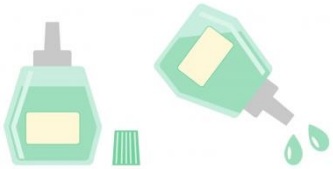


結膜炎の種類は、大きく分けて３種類に分類されます。
①細菌性
②ウイルス性
③アレルギー性

①細菌性結膜炎

黄色ブドウ球菌や表皮ぶどう球菌など身の回りにいる細菌による感染で起こります。

粘りがあって黄色がかった目やにが多く、白目が充血します。うつることはまれですが体力が落ちている方や乳幼児は注意が必要です。



治療：抗生剤の点眼薬をきちんと使用すると数日で治ります。

②ウイルス性結膜炎

ウイルス感染で起こる結膜炎です。伝染力が強いため注意が必要です。
代表的なウイルスはアデノウイルスやエンテロウイルス。

治療：ウイルスには有効な点眼薬がありません。弱った目に細菌などの二次感染を防ぐために抗生剤の点眼薬や炎症を抑えるための抗炎症薬の点眼を使用します。改善には 1～3 週間はかかります。ウイルスに対する抵抗力をつけるために十分な休養をとり体力を落とさないようにしましょう。また伝染力が

非常に強いので他人にはうつさないように注意してください。

・手を石鹸でよく洗う。

・タオルや洗面用具等は他人と別にする。

・人の点眼薬を使わない。

・目をこすらない。

・学校や幼稚園などは医師の許可が出るまで休む。

以上のことを注意し守りましょう。

・流行性角結膜炎（俗にいうはやり目）

アデノウイルスの感染で起こります。

感染してから１～2 週間経過してから症状がでてきます。突然目に何かが入っているかのような異物感、充血、瞼の腫れ、目やに、涙がでてきます。また発症後 1 週間程度経過して角膜に炎症が起こり、目がかすむこともあります。

治るまでには 2～3 週間かかります。角膜炎が起こった場合では数ヶ月にわたって痕が残ることがあります。

・咽頭結膜炎（俗にいうプール熱）

アデノウイルスの感染で起こります。（流行性角結膜炎とは違う型のアデノウイルスです。）

感染してから 1 週間くらいしてから症状が出てきます。充血や目やになどの他にのどが赤くなって高熱が出ることがあります。夏風邪として流行るためプールを介して子供たちに広まることが多いのでプール熱と言われています。

治るまでには 2 週間程度です。

・急性出血性結膜炎

エンテロウイルスの感染で起こります。

感染してから１日で症状が出てきます。白目に出血がみられるのが特徴です。充血や目やにもでます。

治るまでには１０日間程度かかります。

③アレルギー性結膜炎

アレルギー物質が結膜に入って起こります。通年性や季節性があって通年性ではダニやハウスダスト、汚れたコンタクトレンズの使用。季節性は花粉が原因なることが多いです。

目や瞼のかゆみや腫れ、充血や目やに等がでます。

治療：抗アレルギー薬の点眼や症状ひどい時はステロイド薬の点眼を使うことがあります。起こる時期がわかっていれば数週間前から抗アレルギー薬の点眼を使いはじめると症状が軽くすみます。アレルギーの原因をできるだけ寄せ付けなければ症状がでることはないので予防策を取るようにしましょう。

✤✤ ひまわり薬局ではホームページも開設しています ✤✤

http://www.himawari-ph.nagano.jp/

こちらも是非、ご覧ください ☺